

2009年10月9日

報道関係者 各位

千葉市科学館

平成21年度「秋の企画展」関連イベントについて

千葉市科学館（館長：大高一雄、所在地：千葉県千葉市中央区）は、10月30日（金）から11月29日（日）まで開催予定の秋の企画展「^{ボン ジョルノ ガリレオ}BUON GIORNO, Galileo! ～ガリレオからはじまった科学～」の関連イベントが決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 企画展名称

「^{ボン ジョルノ ガリレオ}BUON GIORNO, Galileo! ～ガリレオからはじまった科学～」

2 開催概要

平成21年10月30日（金）～11月29日（日）

開館時間は午前9時～午後7時 会期中の休館日はありません。

※料金：大人200円 高校生100円 小中学生100円

3 会場

千葉市中央区中央4丁目5番1号 Qiball(きぼーる)内

千葉市科学館7階 企画展示室

4 関連イベント

■天文講演会「望遠鏡400年が開いた宇宙像」

ガリレオから始まり現代に至る光学望遠鏡の歩みとともにさまざまな光（電磁波）で研究を進めている現代の望遠鏡と、明らかになってきた宇宙の姿や最新の宇宙像について分かりやすく紹介します。

日時：11月1日（日）15:00～16:00

終了後、リュート奏者によるミニコンサート（約20分間）を開催いたします。

場所：千葉市科学館8階科学実験室B

講師：海部 宣男

（世界天文年2009日本委員会委員長、前国立天文台長、放送大学大学院教授）

リュート演奏：永田 斉子（リュート奏者）

定員：40人

参加費：無料

参加方法：10月15日（木）より電話にて事前申込み開始

申し込み・問合せ：千葉市科学館 043-308-0511

■プラネタリウム特別投影「星とリュート五重奏の響き～ガリレオと音楽～」

ルネサンス・バロック時代ヨーロッパで愛好されていた弦楽器リュートは、ガリレオにとって大変馴染みの深い楽器でした。ガリレオが親しんだ音色と星空をお届けする贅沢なひとときです。

日 時 : 11月14日(土) 17:30～18:30

場 所 : 千葉県科学館7階プラネタリウム

演 奏 : 永田斉子、上島剛之助、五十嵐正明、米田考、中山早苗

定 員 : 200人

料 金 : 大人1200円、高校生600円、小中学生300円

※チケットは科学館ミュージアムショップかローソンチケットでお買い求めください。

問合せ: 千葉県科学館 043-308-0511

■週末ミニコンサート「リュートの音色～ガリレオと音楽～」

ガリレオの科学と音楽にふれるミニ講座とコンサートです。

日 時 : 11月8日(日)、22日(日)、29日(日) 14:30～14:50

場 所 : 千葉県科学館7階企画展示室内

演 奏 : 日本リュート協会

定 員 : 30人

参加費 : 企画展入場料のみ(大人200円、小中高生100円)

問合せ: 千葉県科学館 043-308-0511

■星空観察会

12.8cm屈折望遠鏡、大型双眼鏡(15cm・25倍)、ガリレオ望遠鏡レプリカを使って見ごろの月や木星を観察します。

日 時 : 10月23日(金)、30日(金)、11月29日(日) 18:30～19:30

場 所 : きぼーる駐車場屋上(11階)

※ 悪天時は、ガリレオ望遠鏡等の解説とプラネタリウム星空解説を行います。

(19:10終了予定)

参加費: 無料

定 員 : 30人

参加方法: 事前に電話にてお申込みください。

※10月15日(木)受付開始。11月29日(日)実施分は11月15日(日)受付開始。

■アストロトーク「宇宙の扉～望遠鏡で見てきた新たな世界」

望遠鏡の発達とともに、人類はよりくわしくより遠くまで宇宙の姿をみることができるようになりました。望遠鏡の歴史と見てきた宇宙の姿をご紹介します。

日 時 : 11月3日(火・祝) 13:00～14:00

場 所 : 千葉県科学館7階プラネタリウム

料 金 : 大人500円、高校生300円、小・中学生100円

参加方法: 当日、科学館7階券売機にてプラネタリウムチケットをお買い求めください。

(科学館メンバー会員の方は電話かインターネットで事前予約できます。)

企画・協力: NPO 法人ちばサイエンスの会

■ 秋の企画展「^{ボン ジョルノ} BUON GIORNO, ^{ガリレオ} Galileo! ～ガリレオからはじまった科学～」

主な展示の内容（予定）

・実験、実験、また実験 ―ガリレオの流儀

ガリレオの創意工夫から生まれた科学実験を紹介する。振り子、落体、温度計、レンズなどを使った再現（または模擬）展示を体験する。

・天文との対話 ―ガリレオは何を見たか

稀覯天文書である「天文対話」初版本（1632年刊）実物展示（※千葉市立郷土博物館所蔵）。その内容をわかりやすく解説。天体観測から確信に至ったコペルニクスの地動説を当時広く信じられた天動説との対比しながら紹介。

・チャレンジ！ガリレオ ―最新の宇宙

ガリレオの発見と現代の最新宇宙像について紹介する。望遠鏡により明らかになった宇宙の姿と現代のコンピュータ技術を用いたシミュレーションによる宇宙像などを取り上げる。

以上

このリリースに関するお問合せ先：千葉市科学館 事業開発グループ 広報担当

電話：043-308-0514 FAX：043-308-0520

メール：webinfo.kagakukanQ.com